

企業支援・新事業開発支援の取組み

2024/06/12

浜松いわた信用金庫

イノベーションハブ拠点
FUSE



会員の状況

区分	2021.07.01	2023.03.31	2024.03.31
一般会員	83	145	165
法人会員	4	23	29
学生会員	8	17	18
大学等	18	25	25
合計	113	210	237

2023年度 活動実績

• 各種セミナー等の開催	2023年度	102件・2,624人
	2022年度	94件・1,884人
• 相談対応件数	2023年度	718件
	2022年度	506件
• 視察受入れ	2023年度	163件
	2022年度	285件

2023年度 活動実績

・主なイベント等

- ・ アクセラレーションプログラム「FUSE-ON CHALLENGE」 ： 応募31件
- ・ はままつスタートアップ創業スクール ： 受講者28名
- ・ FUSE BUSINESS LEARNING ： 全10回開催
- ・ FUSE開設3周年記念イベント
- ・ 第16回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2023 ： ピッチ参加12社
- ・ FUSE CRPセミナー ： 全5回開催
- ・ オープンイノベーション サウナ ： 三菱UFJ銀行・日本政策金融公庫とのコラボ

浜松市との協業

- 次世代スタートアップ育成事業
学生のためのアントレプレナーシップ醸成コミュニティ
「Doer Tribe Hamamatsu」
活動拠点 「Startup Cross」
- スタートアップエコシステムに関する協業
浜松スタートアップサロン事業

デジタルスマートシティの実現に向けて

- イノベーションを促進する環境 スタートアップ・エコシステム
- 事業開発と実証の場を提供し、地域課題の解決策を創出
- 新しいアイデアや技術の社会実装を目指す
- ネットワーク構築、官民連携の促進でスマートシティの実現へ

浜松市カーボンニュートラル推進協議会

令和5年度活動実績、令和6年度活動計画（案）

令和6年5月

浜松市カーボンニュートラル推進協議会事務局
（浜松市カーボンニュートラル推進事業本部）

浜松市カーボンニュートラル推進協議会について

- 2015年に設立した「浜松市スマートシティ推進協議会」から、地域脱炭素や地域企業のGXに向けた取組みを強化するため、令和5年8月に「**浜松市カーボンニュートラル推進協議会**」へ発展的に衣替えを実施。
- 地域内外の企業や団体、行政等が一体となり、脱炭素に関するモデルプロジェクトの創出や会員企業への多面的な支援を実施し、浜松市域の脱炭素化、地域企業のグリーントランスフォーメーションにつなげる。

①企業間連携の促進

ニーズ・シーズのマッチング
会員同士の交流の場の創出

②ワーキンググループ活動

プロジェクト創出に向けた協議
GXに向けた地域ビジョンの検討等

③プロジェクトの推進

プロジェクトの実証・実装
プロジェクトの横展開等

④情報発信・セミナー

国・有識者等からの情報提供
企業の先進的取組み紹介など

協議会会員団体

○ 地域内外の116団体が参画（令和6年5月8日時点）

1	アークエルテクノロジーズ(株)	37	(株)三社電機製作所	74	新田建築設計室 一級建築士事務所
2	(株)IHI 中部支社浜松オフィス	38	(株)ジェイエスピー	75	日本板硝子ビルディングプロダクツ(株)名古屋支店
3	(株)アイゼン	39	JFEエンジニアリング(株) 静岡支店	76	日本ケイカル(株)
4	(株)アオイ	40	(株)静岡銀行	77	日本形染(株)
5	(株)アスカ	41	静岡県	78	(株)パスコ 静岡支店
6	(株)アツミテック	42	静岡県地球温暖化防止活動推進センター (特定非営利活動法人アースライフネットワーク)	79	発電マン(株)
7	AMITE(株)	43	静岡文化芸術大学	80	(株)パナソニックシステムネットワークス 開発研究所
8	アンヴァール(株)	44	静岡理科大学	81	(株)浜名ワークス
9	(株)イクト	45	(株)ジャパンインターナショナル総合研究所	82	浜松いわた信用金庫
10	池戸電気(株)	46	(一財)しんきん経済研究所	83	浜松ケーブルテレビ(株)
11	(有)石牧建築	47	Simpotech(株)	84	(株)浜松新電力
12	(株)一条工務店 都市開発事業部	48	スズキ(株)	85	(公財)浜松地域イノベーション推進機構
13	引佐町森林組合	49	(株)鈴木組	86	浜松熱供給(株)
14	INFLUX OFFSHORE WIND POWER HD(株)	50	(株)鈴三材木店	87	浜松ホトニクス(株)
15	(株)植松鈴木組	51	鈴与商事(株) 浜松支店	88	日立造船(株) 中部支社
16	(株)エース技研	52	スプリントコーポレーション	89	不二総合コンサルタント(株)
17	(株)エクセル	53	須山建設(株)	90	(株)フジヤマ
18	SMC(株) 浜松営業所	54	合同会社 ダイセイ	91	Blue Farm(株)
19	エネジン(株)	55	大同興業(株)	92	古野電気(株)
20	(株)エフ・シー・シー	56	(株)太洋サービス	93	(一社)プレス浜松
21	遠州信用金庫	57	大和リース(株) 民間活力研究所	94	ヘルツ電子(株)
22	遠州鉄道(株)	58	中部電力パワーグリッド(株) 浜松支社	95	本田技研工業(株)トランスミッション製造部
23	(株)応用技術研究所	59	TSK(株)	96	(同)MYラボラトリーズ
24	OMソーラー(株)	60	THKリズム(株)	97	前田道路(株) 浜松合材工場
25	大塚製薬(株) 名古屋支店 浜松出張所	61	テイボー(株)	98	(株)丸源竹内組
26	(株)角藤 北信越本部	62	電源開発(株) 再生可能エネルギー事業戦略部	99	(株)丸武部品
27	(株)河合建築事務所	63	東亜道路工業(株)	100	丸紅(株) 浜松支店
28	特定非営利活動法人 がんばらまいか佐久間	64	東急建設(株)浜松営業所	101	(株)三菱UFJ銀行
29	(公財)北九州産業学術推進機構	65	東京海上日動火災保険(株)	102	社会保険労務士法人 村松事務所
30	(株)キャタラー	66	(株)東芝 中部法人営業部	103	村松精機(株)
31	共和レザー(株)	67	(株)TOKAI	104	明治電機工業(株) エンジニアリング事業本部
32	(株)GREEN CHARGE	68	常盤工業(株)	105	矢崎エナジーシステム(株) 環境システム事業部
33	(株)建設技術研究所	69	(株)豊橋バイオマスソリューションズ	106	山崎マシーナリー(株)
34	ソーラエナジー(株)	70	(株)中村組	107	(株)ユニオンパーツ工業
35	(株)ソーラコーポレーション	71	中村建設(株) 建築本部	108	(株)ユニバンス
36	(株)三共	72	西松建設(株)	109	(株)リコー 環境・エネルギー事業センター
		73	日管(株)	110	(株)林工組
					他6社

浜松市カーボンニュートラル推進協議会運営体制

- 会長：浜松市長、顧問：柏木孝夫 東京工業大学名誉教授
- 協議会活動の協議を行うため、「浜松市カーボンニュートラル推進協議会運営委員会」を設置。（委員長：北九州市立大学環境技術研究所 小田拓也教授）

◎ 令和6年度浜松市カーボンニュートラル推進協議会運営体制 ※敬称略

役職	所属	役職	氏名
会長	浜松市	市長	中野 祐介
顧問	国立大学法人 東京工業大学 国立大学法人 電気通信大学	名誉教授 客員教授	柏木 孝夫

【運営委員会】

役職	所属	役職	氏名
委員長	公立大学法人 北九州市立大学 環境技術研究所 国立大学法人 東京工業大学	教授 特任教授	小田 拓也
委員	経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部	カーボンニュートラル 推進課長	白戸 恒彦
委員	環境省 関東地方環境事務所	地域脱炭素創生室長	稲子谷 昂子
委員	浜松商工会議所	地域振興部長 兼中小企業相談所長	伊藤 規晃
委員	中部電力パワーグリッド(株)	浜松支社長	田中 知訓
委員	ソーラエナジー(株)	浜松支社長	岡本 三男
委員	(株)静岡銀行 西部カンパニー	地域共創戦略担当部長	名倉 秀樹
委員	浜松磐田信用金庫	営業統括部長	水谷 尚義
委員	遠州信用金庫	常勤理事	井上 勝
委員	(株)浜松新電力	事業部長	北村 武之
委員	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	専務理事	江馬 正信
委員	浜松市カーボンニュートラル推進事業本部	本部長	袴田 智久

ゼロカーボン・ショートピッチ（概要）

- アンケートにおいて、企業間交流の場や他社の取組み等を勉強する場の要望が多かったことから、会員企業から会社概要や脱炭素の取組み・課題等について、短時間で発表し交流する機会を設けたもの。
- 会員企業同士を知る機会を設けることで、異なる規模や業種の企業間マッチングを促し、脱炭素関連技術・サービスの創出や会員企業のGX実現を目指す。

1 日程

- ① 2月19日（月） 14:30～16:30 **73名参加**
- ② 3月1日（金） 14:30～16:30 **101名参加**

2 場所

F U S E

（浜松市中央区鍛冶町100-1
ザザシティ浜松中央館 地下1階）

3 内容

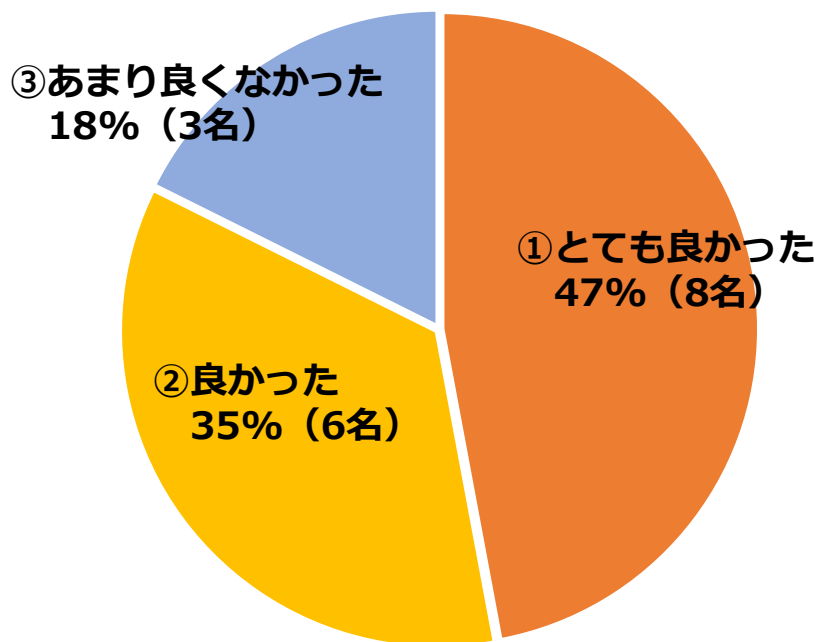
- ①趣旨説明（事務局）
- ②ショートピッチ
14社／日（各社約5分）
会社概要・脱炭素のニーズ・シーズを発表
（PDF又はパワーポイント2枚程度）
- ③名刺交換・意見交換
会場内に発表企業ごとにブースを設け、
発表企業と参加企業の交流を図る



ゼロカーボン・ショートピッチ（アンケート結果）

- 参加者アンケートにおいて、「とても良かった」、「良かった」と回答頂いた参加者が8割以上。
- 本イベントをきっかけとして、秘密保持契約を締結した共同研究開発に繋がるなど、具体的な成果もあることから、令和6年度も引き続き開催する。

参加者アンケート結果



●とても良かった、良かった

- ・ カーボンニュートラルに向けた取り組みへの積極的な姿勢を感じられた。
- ・ バラエティ豊かな発表で勢いを感じられた。
- ・ 異業種交流、新事業の協業等の繋がりが持てる良い機会。
- ・ 自社の取り組みを他業種の企業に知って頂く機会になった。
- ・ 次回は弊社の取り組みを紹介したい。
- ・ 簡潔な説明で飽きることなく聞くことができた。

●あまり良くなかった

- ・ マイクの音量が安定しない
⇒ 次回、会場を変更する。
- ・ 時間が短いのでは？と感じた。資料の統一を図り、運営するなどの工夫の余地があるのでは。
⇒ 資料作成のルールを徹底する

その他

- ・ ショートピッチや懇親会をきっかけに、秘密保持契約を締結し、共同研究開発を模索している企業。 直接企業訪問し、連携の可能性を模索しているケース等があり。

令和6年度 協議会活動スケジュール（案）

- 令和6年度については、概ね以下のとおり協議会活動を実施する。
- 運営委員会や会員企業からの意見を基に、随時スケジュールや内容を見直し、効果的な活動を目指す。

月	項 目	内 容
4月	◆セミナー／4月26日 ※開催済 99名参加	「令和6年度カーボンニュートラル支援施策紹介セミナー」
5月	◆ピッチイベント(3回目)／5月24日	「ゼロカーボン・ショートピッチ」として、令和5年度に続き、会員企業から会社概要や脱炭素の取り組み・課題等について、短時間で発表し交流。
6月	◆展示会出展（AXIA EXPO 2024）／6月5日～7日 ◆ピッチイベント(4回目)／6月13日	今年度初開催される「AXIA EXPO 2024」に出展。中部圏の企業の新規加入を促し、地域企業等とのマッチングにつなげる。
7月 ～ 12月	◆ワーキング（研究会・勉強会）開催／今後調整 ◆先進地視察／今後調整	<u>テーマ別にワーキングを立ち上げ、プロジェクト創出等に向けて関係企業と協議。</u> ・（例1）水素・アンモニア・e-fuel等の <u>次世代エネルギー</u> に関する研究会 ・（例2） <u>業界ごと</u> （例：建設業、農業）のカーボンニュートラルに向けた研究会
1月	◆展示会出展（ENEX 2025）／1月29日～31日	全国規模の展示会に出展し、当地域の取り組みの発信と全国の関連企業と地域企業等のマッチングにつなげる。
3月	◆フォーラム／今後調整	協議会活動の一年間の総括として開催。有識者からの講演等を検討する。



浜松市カーボンニュートラル推進協議会 事務局
(浜松市カーボンニュートラル推進事業本部)

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2

TEL:053-457-2503 FAX:050-3730-8104

E-mail: challenge-smart@city.hamamatsu.shizuoka.jp

LINKWIZ

Robotics & Partners

浜松市スタートアップ推進協議会
吹野豪

2024/06/01

(一社) 静岡ベンチャースタートアップ 協議会設立のご案内

一般社団法人静岡ベンチャースタートアップ協会® 設立イベントを実施

～静岡にゆかりのあるスタートアップやメディアなど70名以上が参加しました～

SVSA 2024年5月8日 23時00分



この度、一般社団法人静岡ベンチャースタートアップ協会®（代表理事：鈴木康友、所在地：静岡県浜松市 URL：<https://startup.shizuoka.jp/>）は、2024年5月1日に協会設立における記念イベントを実施いたしました。スタートアップ（静岡県内企業、県内出身者）経営者様やメディア様、スタートアップ支援家様、自治体関係者様など70名以上の参加者様にお集まりいただきました。



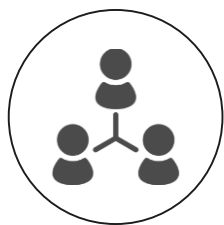
4月25日 一般社団法人静岡ベンチャースタートアップ協会設立。

5月1日 リリースイベントを実施しました。

01

設立背景

現状の課題



コミュニティが分散しており県全体で意見を集約する機能がない

静岡県内のスタートアップエコシステムは浜松、静岡、三島等に分散し、全県的な提言機能と成長環境が欠けている。



スタートアップ向けの活動が少ない

VC、CVCとの交流やスタートアップ支援会社との連携などアーリーステージに特化したイベント運営やサポートが必要である。



若年層が都心に流出している

若年層が大学進学、就職をきっかけに「情報の質と量」が豊かな都心に流出してしまっている。

静岡県にゆかりのあるスタートアップが集結し、
スタートアップが切磋琢磨できる仕組みを構築します

ミッション

挑戦の地「静岡」から、その一步が世界を変える。

静岡の地から、新たな挑戦が始まります。

ここには、未来を切り拓くアイデアが溢れ、社会にポジティブな変化をもたらすスタートアップが集います。私たちは、単なるビジネス以上に、社会全体を前進させる行動を促します。

私たちのミッションは、地域の枠を超え、世界に向けて「静岡」から大きな一步を踏み出すこと。その船出を支え、挑戦者たちが世界の舞台で輝けるように全力でバックアップします。

一人ひとりのアイデアが集い、協力し合うことで、社会に大きな変化を生み出すことができます。

静岡から始まるこの動きが、やがて世界中に広がり、新しい価値を創造する。
それが私たちの願いであり、目指す未来のカタチです。

私たちは、静岡から挑戦するすべてのスタートアップと共に、世界を変える一步を踏み出します。

02

協會概要

活動内容

若年層向けのアントレ教育



静岡県内の中学、高校、大学生向けにスタートアップ出前講座を実施。静岡県出身の経営者を中心に県内中学校、高校、大学にて出前授業を実施する。

プレ起業家向けワークショップ



出前授業で起業に興味を持った学生に対してワークショップを実施して、起業へ一歩踏み出し後押しを実施する。起業体験イベントへの送客も行う。

起業体験イベント開催



Startup Weekendを中心とした起業体験イベントを静岡県各地で実施し、出前授業やワークショップで高まった起業家マインドを開花させる。

プレ起業家への伴走支援



Startup Weekendやワークショップなどを通じて、本気で起業を目指す、チームに対して個別の伴走支援を行うことで実施に会社設立に漕ぎ着けるスタートアップを輩出する。

理事会	
未来共創	鈴木康友 様
イノベーション	富田 直人 様
リンクウィズ	吹野 豪 様
Wewill	瀧下 且元 様
Wewill	杉浦 直樹 様
エバーコネクト	篠原 豊 様
Geolocation Technology	山本敬介 様
ビタミン	高梨 大輔 様
ハヤテグループ	杉原 行洋 様
EXPACT	高地 耕平様
CFスタートアップス	出縄 良人 様
フジ物産	山崎 伊佐子 様



運営事務局	
EXPACT（事務局長）	高地 耕平
FCC	上原 和也様
ソフトバンク	久保田 恭一 様
Wewill	瀧下 且元 様
Wewill	渥美 讓 様
イノベーション（理事代行）	大塚 友広 様
ハヤテグループ（理事代行）	岡安 良将 様
ビタミン（理事代行）	高松 裕美 様

アドバイザー	
East Ventures	大柴 貴紀 様
アバカム	松本 直人 様



一般社団法人

静岡ベンチャー

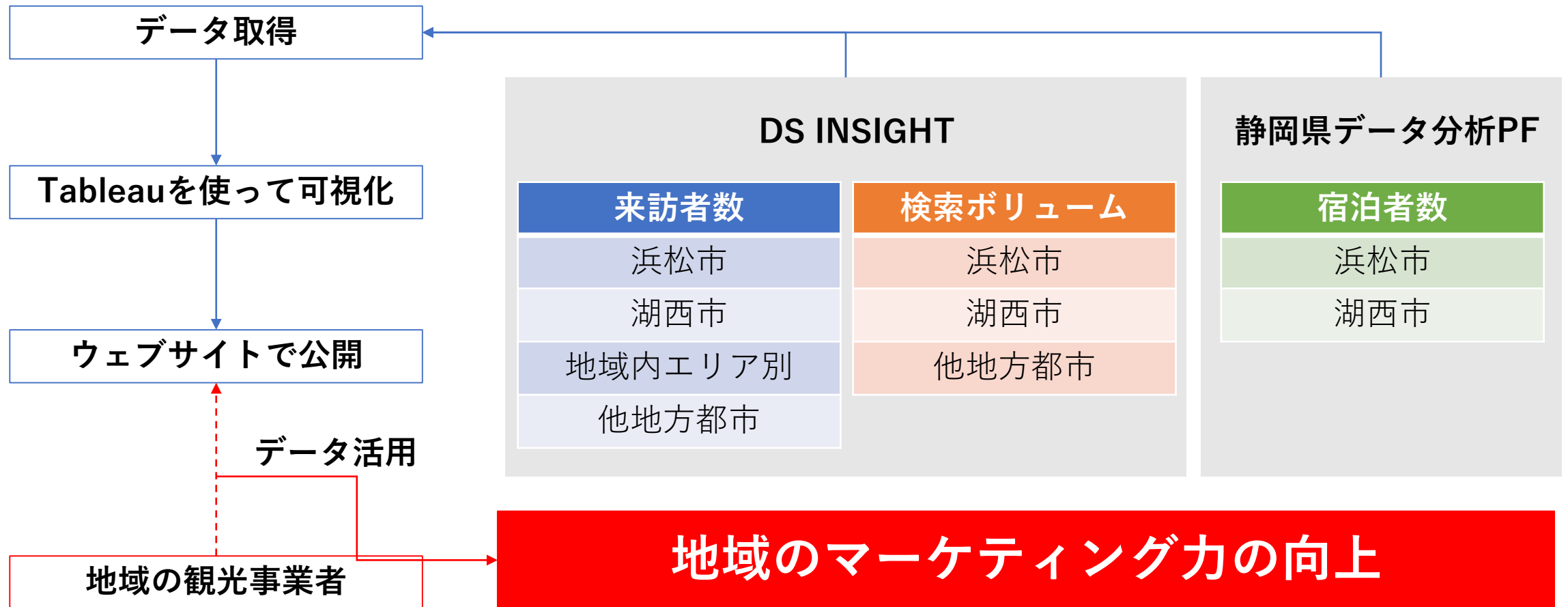
スタートアップ協会

観光マーケティングデータ活用

公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

観光マーケティングレポートの配信

本年度より当エリア内の観光事業者向けに来訪者数や宿泊者数、地域の検索ボリュームのデータを可視化してウェブサイト上で公開（月1回更新）



グラフ切替

当月vs前月

基準年月

2024年度4月

年度

{すべて}

月

{すべて}

浜松市来訪者数

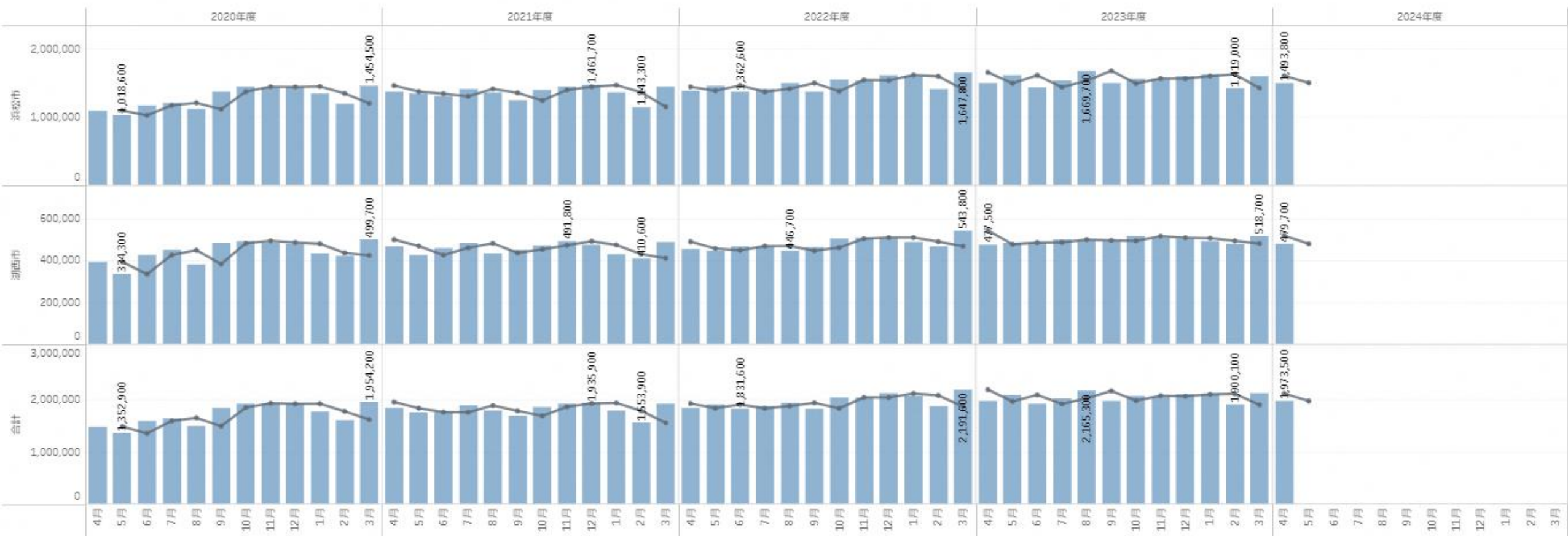
当月：1,493,800
前月：1,597,400
前月比：93.5%
前年同月：1,488,100
前年同月比：100.4%

湖西市来訪者数

当月：479,700
前月：518,700
前月比：92.5%
前年同月：477,500
前年同月比：100.5%

浜松市+湖西市来訪者数

当月：1,973,500
前月：2,116,100
前月比：93.3%
前年同月：1,965,600
前年同月比：100.4%

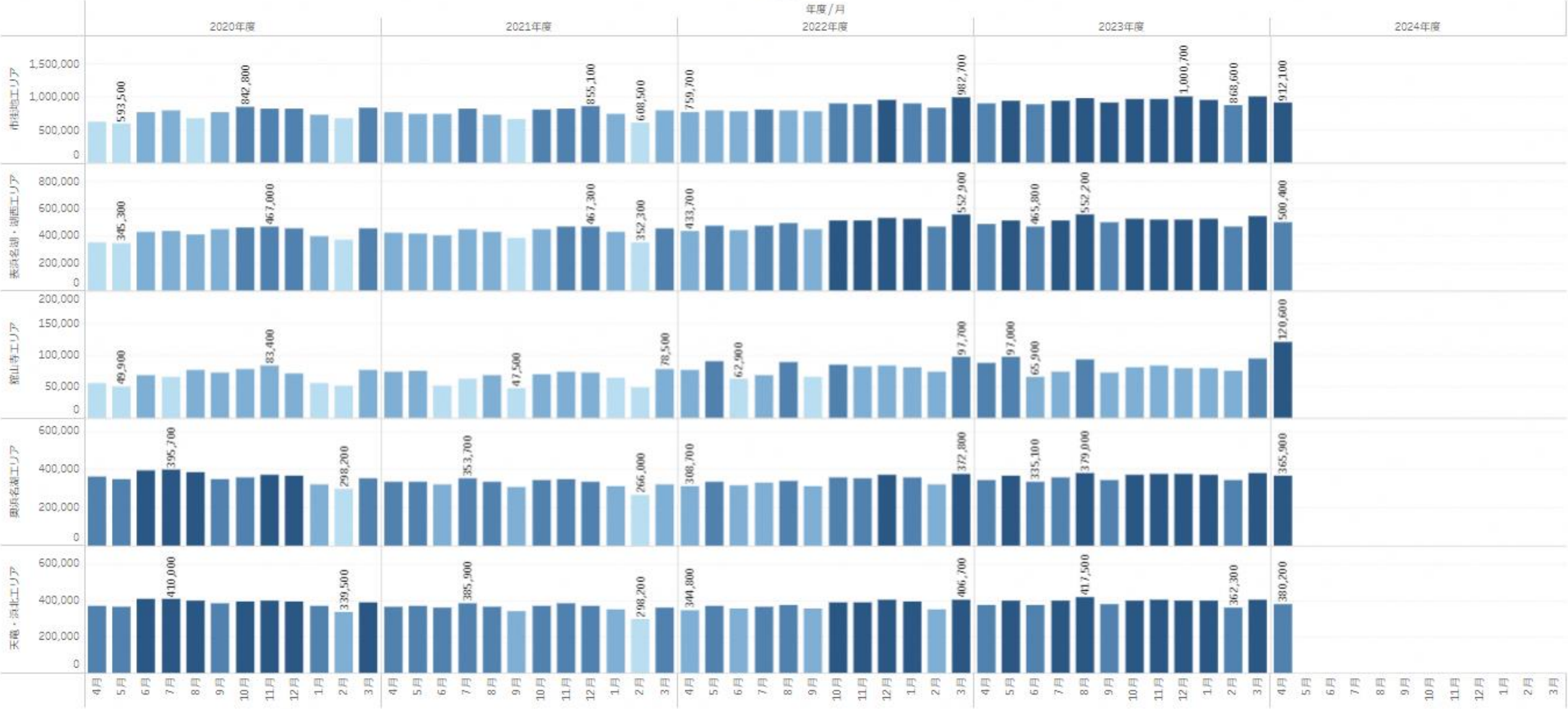


年度

月

グラフ切替

エリア別時系列推移



浜名湖_来訪者数×検索ボリューム数推移 ※来訪者数は実数ではなく、推計値となります。

データ更新時間：2024/05/23 2:01:42

年度

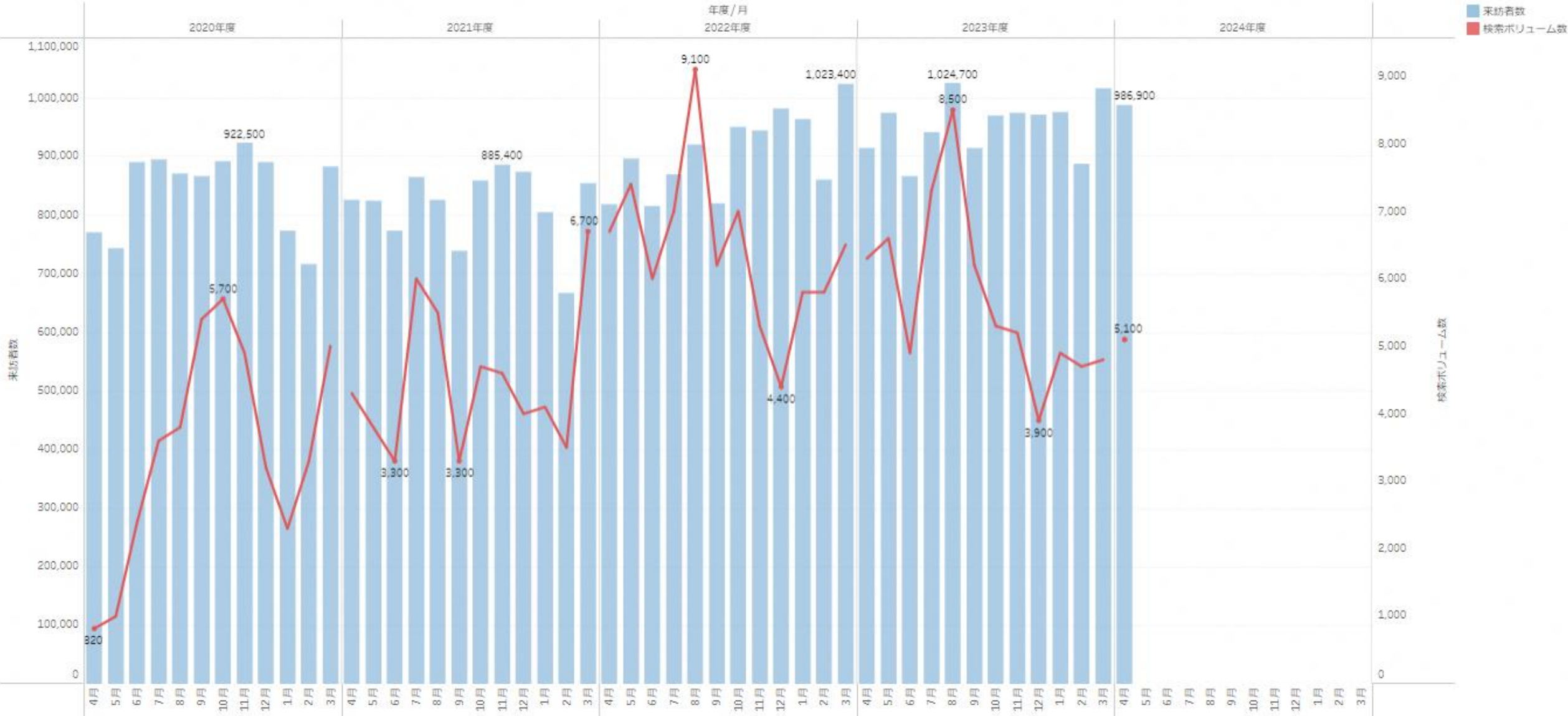
月

地域選択

[すべて]

[すべて]

浜名湖



出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

観光マーケティングレポート【2024年4月】

<https://mice-hamamatsu.jp/topics/2462/>

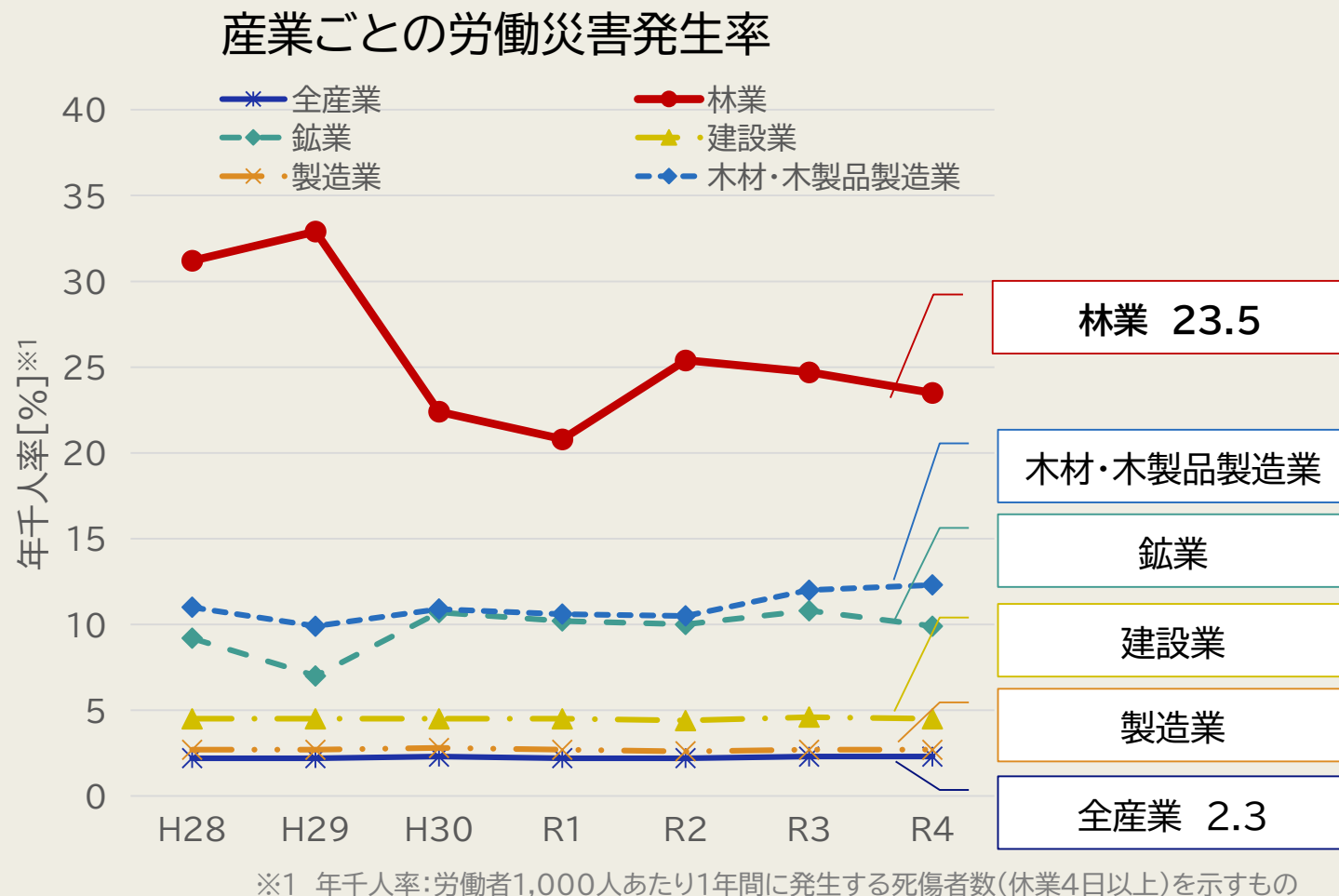


林業における労働災害防止アプリの開発

静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 山口 亮

林業における労働災害の発生率

- 林業における労働災害の発生率は極めて高い
 - 死傷者千人率：23.5
 - 林業において労働災害の低減は喫緊の課題である
 - 第14次労働災害防止計画
 - 労働災害死亡者数15%削減（2027年）
- ↓
- 近接作業を検知・警告するアプリケーションの開発
 - 浜松医科大学との共同研究
 - 小田切准教授、齊藤准教授、鈴木健心さん（医学科4年）

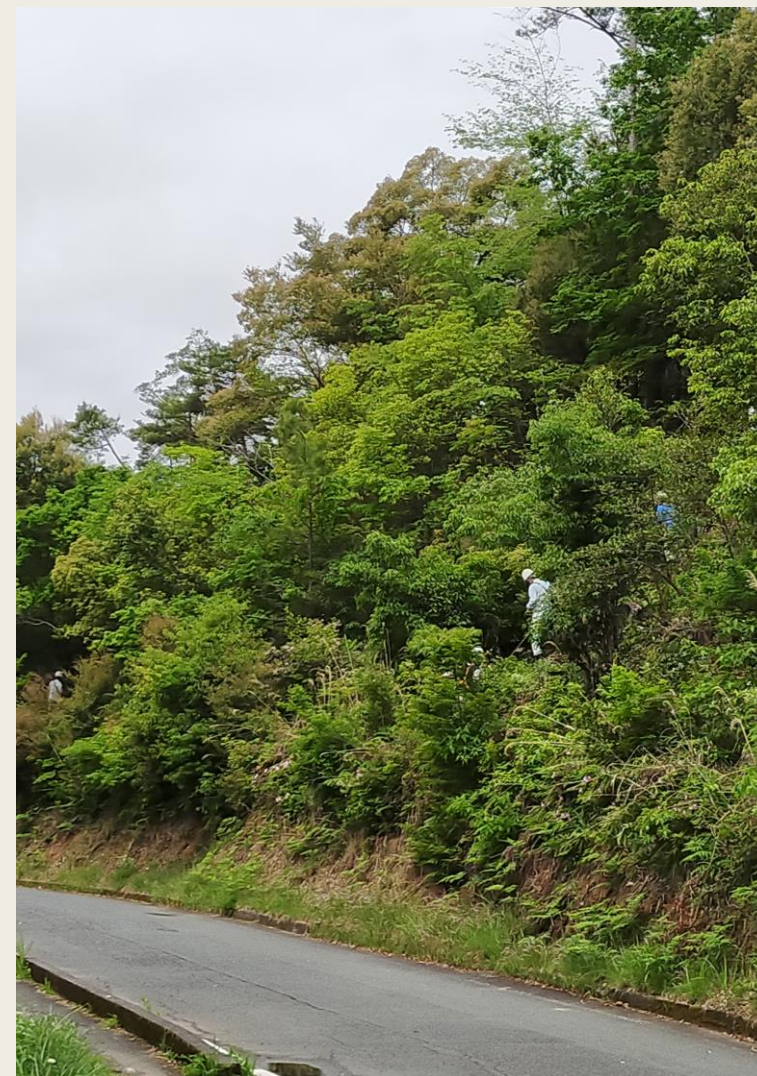


近接作業を検知・警告するアプリ開発

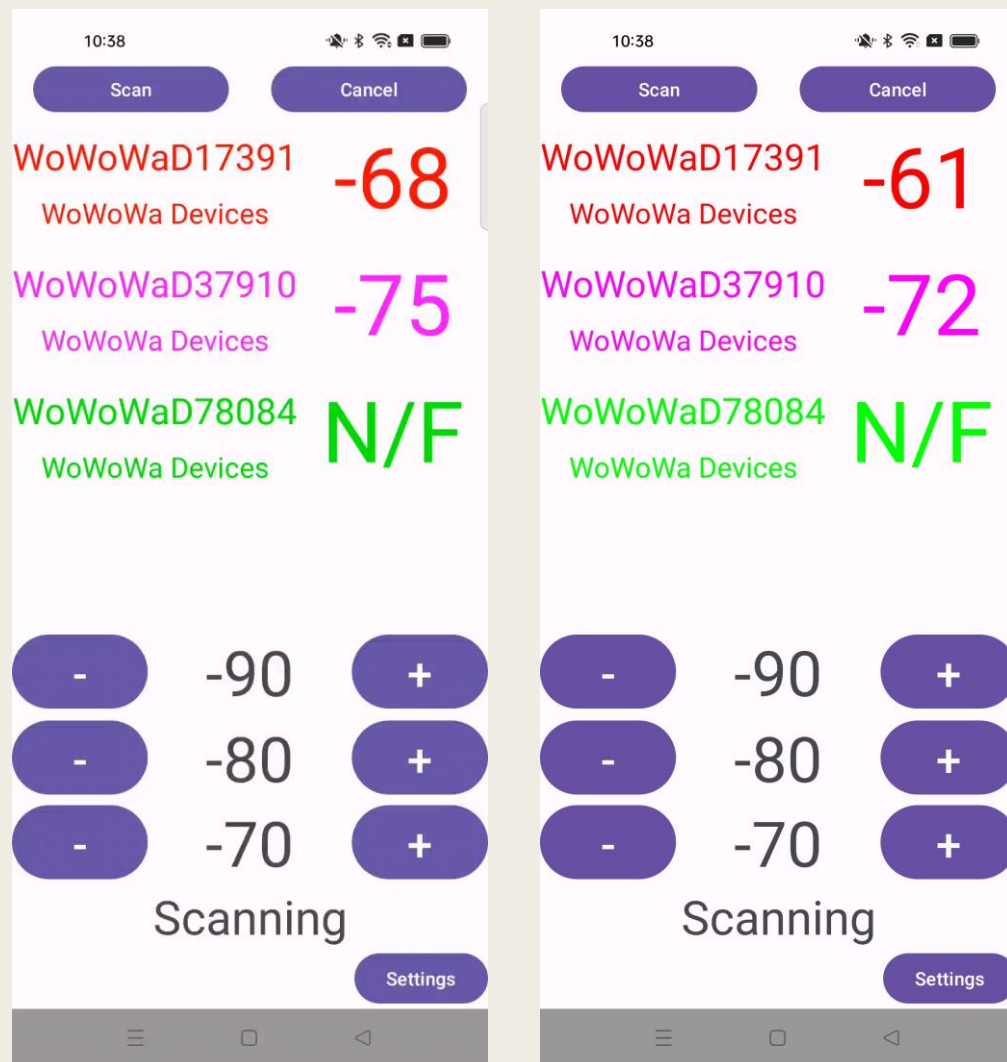
- 近接作業による死亡事故
 - チェーンソー作業事故の約1割
- 作業者の周囲が木に覆われ接近者を視認しにくい
- 林業の作業者はストレスが高い（小田切准教授との共同研究結果）
 - 作業前の各種ストレス値が高め
 - アスリート並みの回復能力を持っている
 - 疲労の蓄積から生じる判断力の低下が懸念



- スマートフォンの活用
 - 作業者の判断力を補完するアプリの開発
- 近接作業による事故を防ぐ



近接作業を検知・警告するアプリ開発



- Bluetoothを活用したスマホ用アプリ
 - Wood Worker Watch (WoWoWa)
- 特徴
 - Bluetoothシグナルを1秒ごとに探知
 - 一定の強度を探知した場合に警告音・振動を発信
 - 3段階で警告音と振動の発信間隔が変化
 - 警告を発するシグナル強度は任意で設定可能
- 実際の現場で作業者の使用感等の調査を実施中
 - 今年度中の実用化を目指す

遠鉄グループ 運輸事業における デジタルの活用について

2024年6月
遠州鉄道株式会社

「クレジットカード タッチ決済」を導入

2024年3月より路線バス69両（浜名湖花博2024へのアクセス手段となる路線全便で対応） および空港バス・高速バス・遠鉄タクシー全車両に導入

2024年度中に残る路線バス約150両と遠鉄電車全18駅へサービス拡大予定



現時点の利用実績…1日あたり約**320**人 ※花博便乗降客の約**8**%が利用

「遠鉄タクシー スマホアプリ」を導入

2024年4月より遠鉄タクシー独自のスマホアプリ「E-タクPlus」を導入

【導入背景】コロナ禍からの需要の急激な回復で「タクシーがつかまりにくい」状態に
→「お待たせしない」ために以下の対策を実施

- ①タクシー運転手確保…直近1年間で117名を採用。コロナ前比7割→8割に
- ②配車システムの刷新…自動配車システム強化によりタクシーを素早く配車指定
- ③タクシーアプリの導入…電話をかけなくても自動で受付。予約注文も可能



「タクシーの現在地を確認」
を押すと車両位置が確認
出来ます。



現時点のアプリ利用者…約8,200ダウンロード

■事業名

B-orderを活用した備蓄品管理から要請環境の防災DX検証プロジェクト（危機管理課）

■背景・目的

本市では、災害備蓄品の管理を市販の表計算ソフト（Excel）で行っており、以前からシステム化が課題であった。このため、防災倉庫の在庫管理等へのB-Orderの活用の可能性について実証実験を行い、普段の業務の効率化と防災DXの両面から実現を目指す。

■事業概要

プライムバリュー株式会社が開発したB-orderにより備蓄品の管理環境が「普段の備蓄品管理の効率化につながるか」及び「発災時の避難所運営における備蓄のリアルタイム消費が適切に行えるか」を検証する。

■事業イメージ（図、イラスト等）

【実証結果】



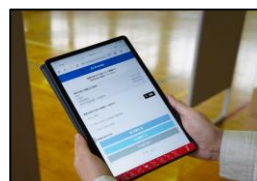
平常時の調達



- 消費期限切れの災害備蓄品の更新時に、納入業者がシステムへ直接納品数を入力することで市職員の事務作業の省力化が確認できた。



QRコード管理



- 災害備蓄品の移動時に、二次元コードによる受払管理の一元化が可能であることが確認できた。



通信環境



- 携帯通信網やインターネット網が途絶した場合を想定して、衛星にて通信環境を構築しているStarlinkにより、データのやり取りがストレス無く利用出来ることが確認できた。

■令和6年能登半島地震

本市が物資管理を担った珠洲市では、日々変動する避難者数に対する在庫管理や配分調整を市販の表計算ソフトで行うことに大変苦慮した。

■今後に向けて

今後は、国の物資調達・輸送調整等支援システムとの連携など引き続き課題解決に向けた調整を進め、より良いシステム導入に向けた検討を行っていく。

■取組名称

ICTを活用した教育活動等の充実＜小中学校＞（教育施設課・教育センター・教育支援課）

■背景・目的

- ・ 1人1台端末で「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善
- ・ 端末と学習支援アプリの一体的な整備によりICTを効果的に活用した学びの実現
- ・ 多様な児童生徒の学習支援や指導の充実

■取組概要

～「使ってみる」段階から「より効果的な活用」へ～

- 『協働的な学び』の実現
 - ・ 学習支援アプリの活用推進により、児童生徒が多様な考えや意見を共有し、協働によるより良い学びの実現
- 『個別最適な学び』の実現
 - ・ 学習支援アプリの活用推進による、個に応じた「指導の個性化」や興味・関心に応じた「学習の個性化」を実現
 - ・ ドリルアプリの活用による個の学習の効率化

■今後に向けて

- ・ 情報活用能力（情報モラルを含む）の育成及び指導の拡大・充実
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けたICT活用
- ・ 不登校児童生徒の孤立を防ぐデジタル支援の環境整備
- ・ 第4次教育総合計画の策定

■事業イメージ（図、イラスト等）





取組状況（子育て分野）

■取組名称

- 1 「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組（こども若者政策課）
- 2 保育事業等における条件検索機能の導入（幼保支援課）
- 3 園児の登降園管理等のシステム導入（幼保運営課）

1 「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組

■取組状況（概要）

(1)こどもまんなかアクションの情報発信

- ・こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」に参加することを宣言。
- ・本市のこども・子育て支援に関する情報を「こどもまんなかアクション」として、市の公式X「てんこちょ浜松」で発信。

(2)こども版市長へのご意見箱

- ・こどもや若者の最善の利益を第一に考え、意見を聴き、施策に反映させるため、現行の「市長へのご意見箱」をこども向けにわかりやすく要約した「こども版市長へのご意見箱」を市ホームページ内に整備。

2 保育事業等における条件検索機能の導入

■取組状況（概要）

- (1)保育所等募集人数の条件検索機能の導入
- (2)一時預かり事業空き状況の条件検索機能の導入
- (3)病児・病後児保育事業の空き状況の見える化

3 園児の登降園管理等のシステム導入

■取組状況（概要）

- (1)市立保育園で、園児の登降園管理、保護者との連絡手段を支援するシステムを導入。
園児の安全管理体制の強化、保護者への迅速な情報提供のほか、職員の事務負担を軽減。

■今後に向けて

(1)子育てDXへの対応

- ・児童扶養手当や、ひとり親医療費に関する現況届について、これまで対面を原則としていたものを、一部オンラインによる申請を可能とし、併せて職員の業務効率化が図られるよう準備中。

(2)国のシステムの標準化への対応

- ・子ども子育て支援システム（教育・保育システム）、児童手当システム、児童扶養手当システムについて、国の標準仕様に準拠したシステムの導入に向け調整中。